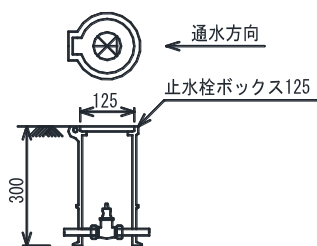


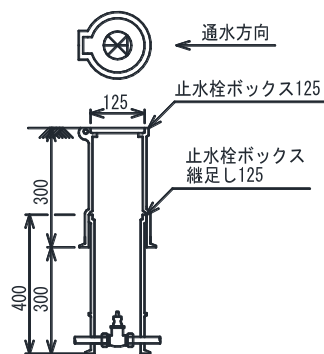
1. 止水栓

(1) 口径 25mm 以下

(ア) 宅地内

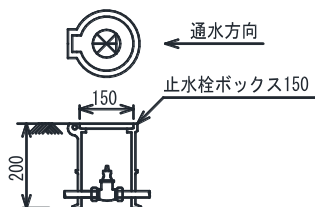


(イ) 道路部分

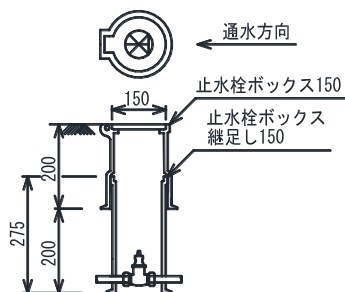


(2) 口径 30mm 以上

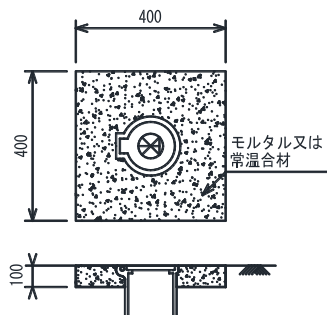
(ア) 宅地内



(イ) 道路部分

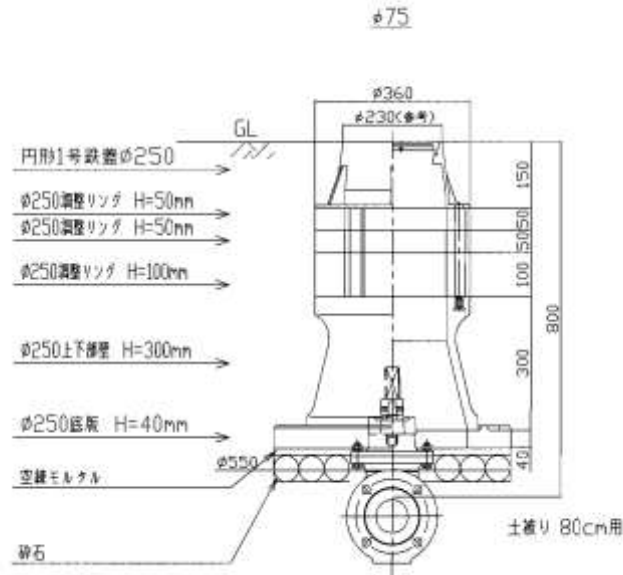


- (注) 1. 道路部分については止水栓の深さにより継足しを増加する。
 2. 砂利道路に止水栓ボックスを設置するときは次のボックス保護を行なう。



2 制水弁室

断面図

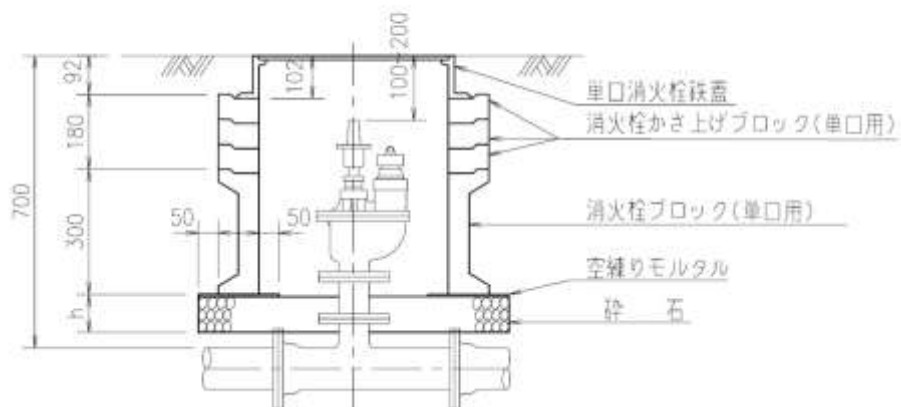


※口径 100mm 以上の標準図については、土木工事共通仕様書・標準図集を参照のこと。

- (注) 1. 制水弁本体と弁控室用ボックスは、接触してはならない。
 2. 砕石は敷き均し後、十分に転圧すること。
 3. 砕石については、厚さ20cmを基本とするが、本管に接触しないように調整すること。
 4. 調整リングは、路面引下げ等に対処するため必ず使用すること。
 5. 土壌りに合わせて、調整リングを適宜使用し高さ調整すること。

3 消火栓室標準図

管軸側

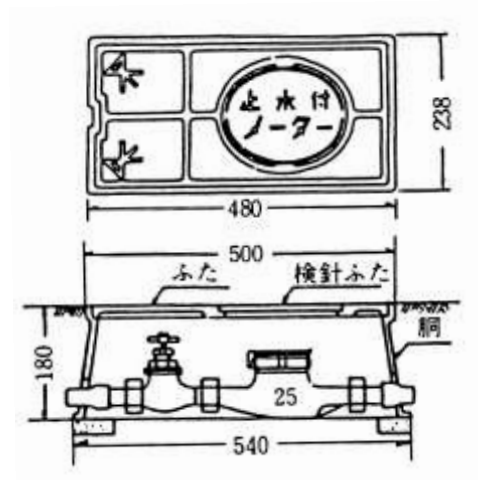
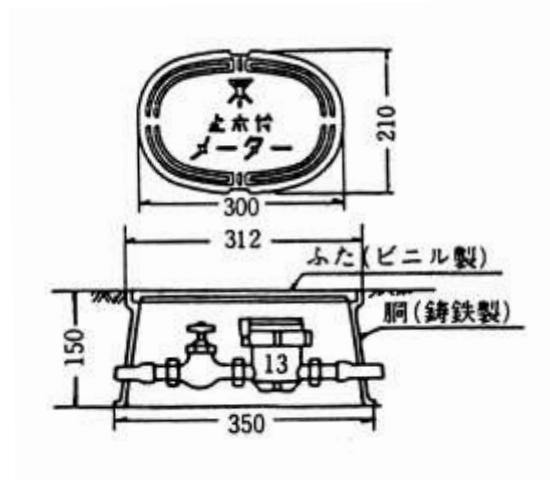


- (注) 砕石については、厚さ20cmを基本とするが、本管に接触しないよう調整のこと。

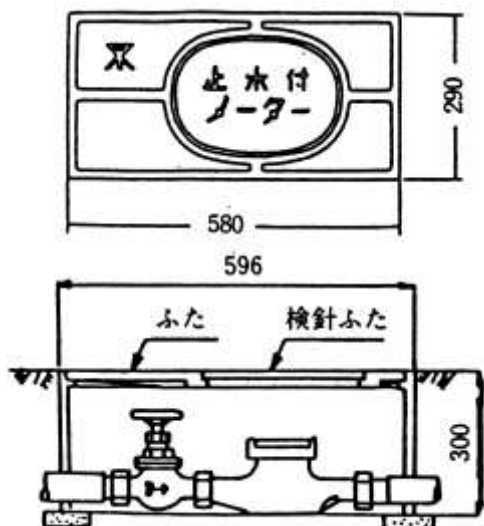
4. メータ

(1) 口径 13mm (メータ用止水栓使用)
メータボックスMS-1 使用

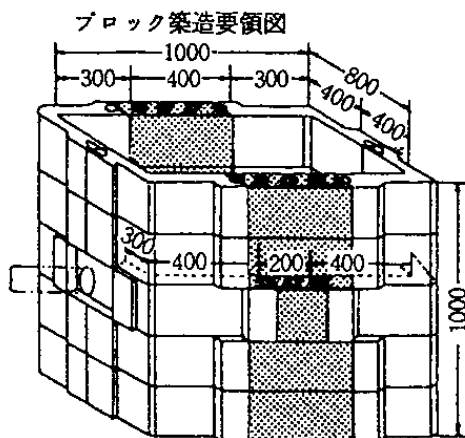
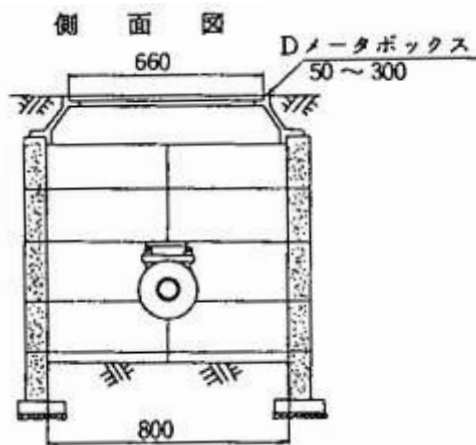
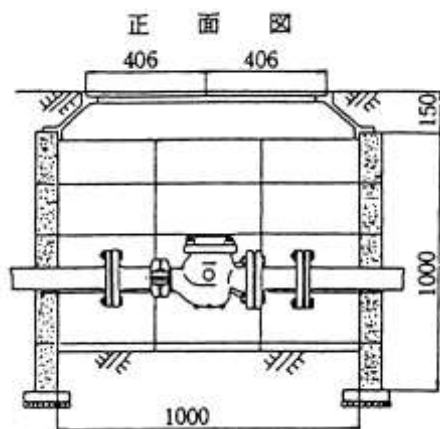
(2) 口径 25mm (メータ用止水栓使用)
メータボックスMS-2 使用



(3) 口径 40mm (メータ用止水栓使用)
メータボックスMS-3 使用



(4) 口径 50~250mm



室築造材料	数量
メータ室コンクリートブロック	20
空洞コンクリートブロック	9

- 注1. ブロックはモルタル積みとする。
 2. 強度上必要な場合は9筋鉄筋を使用すること。
 3. [Pattern] は市販の空洞コンクリートブロック (190×390×100) 及び半載したものを示す。

(5) 口径 300mm

